



# LGBTスタディーズ

8月18日(水) 13:00~16:00

ジェンダー、セクシュアリティについて深く正しく学び、その知識を周りの人に伝授する、「LGBTスタディーズ」

**受講料**

一般 1,000円

学生 500円

## 性の多様性と教育

—実践への第一歩—

LGBTという言葉が一般にも広まり、学校など教育現場にも、「自分はみんなと性の感じが違う」と悩む子どもたちがいると知られるようになってきました。

性の多様性について、大人は子どもたちに、何を、どのように伝えれば良いのでしょうか？学校でできることは何でしょうか？

今回は、授業例や子どもたちの姿を通して学びたいと思います。

性の多様性が尊重される学校づくり、授業のあり方のヒントになる視点をご一緒に考えましょう。

教育関係の皆さまほか、幅広い分野の方のご参加をお待ちしています。

### 『多様性の基礎的な考え方 —とくに性の視点で』

広島大学ダイバーシティ研究センター  
センター長 教授

#### 大池 真知子さん

専門はアフリカの文学、ジェンダー学。広島大学ダイバーシティ研究センター長として、ダイバーシティ(多様性)に関する各種プロジェクトを実施。広島大学で2020年から施行された「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン—LGBT等の学生の修学のために」を起案するなど、活動している。主著『エイズと文学—アフリカの女たちが書く性、愛、死』(世界思想社 2013年)



### 『学校・学級・授業』

”人間と性”教育研究協議会広島サークル  
代表幹事・中国ブロック幹事

#### 城 英介さん

元小学校教諭／多様な性と教育を考える広島連絡会(仮)呼びかけ人／20代でジェンダーの問題と出会い、主に性教育の実践研究や啓発活動を続けている。今までに広島エイズダイヤルボランティアやCAP(子どもへの暴力防止)広島連絡会理事、広島大学ピアサポートルーム専門アドバイザーとしても活動。現在は「ここいるhiroshima」のサポーターとしての性的マイノリティの子どもたちの居場所づくりに参加している。



#### 広島修道大学 人文学部 教授 河口 和也さん

専門:社会学  
性的マイノリティに対する社会意識と政策の研究、地方都市で生活するLGBTに関する研究を行う。ゲイの当事者として教育関係者・行政関係者・企業関係者に対して、LGBT対応関連の講演活動を実施。  
広島県男女共同参画財団LGBT関連顧問。  
『ゲイ・スタディーズ』(1997年 青土社)、『クィア・スタディーズ』(2003年 岩波書店)、『同性愛と異性愛』(2010年 岩波書店)、『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』(2018年 法律文化社)など

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、延期又は中止することもあります。

会場: エソール広島  
定員: 50名

広島市中区大手町1-2-1おりづるタワー10階  
TEL(082)242-5262 <http://www.essor.or.jp>

ホームページからお申し込みください→

